



大阪+知的障害+地域+おもろい=創造

## 知の知の知の知

社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会 社会政策研究所情報誌通算 4121 号 2018.1.5 発行

### 先天性ミオパチー 支え合いクラスの一員 人工呼吸器の小2、通常学級 学校側が配慮



宇都宮 毎日新聞 2018年1月5日  
 バギーに乗り、高さのある机に向かって友達と一緒に学ぶ府川理央さん(手前から2人目)＝宇都宮市立宮の原小で2017年12月8日午前10時15分、高橋隆輔撮影

筋力が低下して呼吸や歩行が困難になる難病「先天性ミオパチー」の影響で人工呼吸器を手放せない宇都宮市内の小学生が、周囲の支えで通常学級に通っている。同市立宮の原小2年、府川理央さん(8)。人工呼吸器を使う児童が通常学級に通うことは現状、ほぼ認められていないが、「うちに通いたい子を断る理由はない」という学校側の配慮で、たくさんの友達と一緒に学び、成長している。

昨年12月8日、同小2年1組であったコミュニケーションを学ぶ会話の授業。最近できるようになったことを聞かれた理央さんは「サッカー」と答えた。「ボールを蹴る距離が伸びた」と身ぶりを交えて説明。授業の終わりには手を挙げ、「言葉と巡り合える大切さが分かりました」と感想を発表した。

理央さんは病気の影響で筋力が弱く、4歳で気管を切開した。1年時は、日中は人工呼吸器はいらなかったが、昨年、長期入院し、人工呼吸器が24時間必要になった。

このまま通い続けるのは難しいと考えた両親は、入院中の理央さんに特別支援学校への通学を勧めた。だが、母亜希さん(44)が病院から帰った後、理央さんは「宮の原小に帰りたい」と看護師に泣いて訴えたという。

理央さんの願いを知った両親から相談を受けた学校は、可能な支援について話し合った。来客用トイレの開放や、障害や難病で首や腰の不安定な子供が乗る「バギー」と呼ばれる車椅子に乗ったままでも使いやすい高さのある机を用意するなど環境を整えた。市教委も「自力歩行もできるし学力にも問題はない」と判断し、看護師資格を持つ支援員を配置して通常学級での学習を支えることになった。

理央さんは昨年9月から再び元のクラスに通うようになった。これまでと変わらず、休み時間は友達と遊び、黒板掃除や日直もこなす。担任の林京子教諭は「できることや見た目は全く同じではないが、クラスの一員という意識は誰よりも強い」と話す。

クラスメートは給食の配膳を手伝ったり、重いものを持ったりしてくれる。理央さんは「宮の原小学校は来るだけで楽しいところ。優しい友達がたくさんいるから」と目を輝かせた。【高橋隆輔】

全体の1%、全国で17人

文部科学省が2016年に全国の公立小中学校と特別支援学校(幼稚部～高等部)を対象に行った調査では、人工呼吸器を使用する児童・生徒は計1388人。うち小中学校の

通常学級に通う子はわずか17人で全体の約1・2%だ。

人工呼吸器装着者の会「バクバクの会～人工呼吸器とともに生きる」(大阪府)によると、通常学級への通学を希望する児童・生徒は少なくないが、「前例がない」と断られたり、教委とやり取りを続ける中で諦めてしまったりするケースが多い。通常学級に通う選択肢を思いつかない保護者もいるという。同会事務局の平本美代子さんは「本人を見ずに呼吸器ばかり見られることが少なくない。呼吸器はつえやめがねと同じ」と理解を求める。

#### ■ことば 先天性ミオパチー

筋組織の形態の異常で筋力が低下する国指定難病。国内の患者数は1000～3000人(推定)。呼吸不全やたんを出しにくいなどの症状が表れ、人工呼吸器が必要になることもある。症状の進行は遅いとされるが、根本的な治療法は見つかっていない。

### 知的障害者バレーボール、体験会初開催へ



平成29年度栃木県障害者スポーツ選手等・育成強化事業  
バレーボール体験会  
参加者募集!

- 初めての体験会!
- 参加費無料!

平成29年度に栃木県で開催された第27回全国障害者スポーツ大会  
「バレーボール」のチームを設立します。  
栃木県障害者スポーツ協会では、下記のとおり初年度向けのバレーボール  
体験会を企画しました。  
興味・関心のある方は、この機会にぜひ参加してください。

| 日程           |
|--------------|
| 第1回 1月27日(土) |
| 第2回 2月11日(日) |
| 第3回 2月25日(日) |
| 第4回 3月11日(日) |
| 第5回 3月25日(日) |

会場 ときぞ福祉プラザ 障害者スポーツセンター  
時間 各回 14:00～16:00  
対象 知的障害者 (12歳以上の男女) 定員 各回 男女各15名  
申込方法は裏面へ

### 栃木県協会 22年地元全国大会へチーム結成を目指す

下野新聞 2018年1月5日  
初めて開かれるバレーボール体験会の案内チラシ

【宇都宮】県障害者スポーツ協会は27日、知的障害者を対象としたバレーボール体験会を若草1丁目のときぞ福祉プラザ障害者スポーツセンターで初めて開く。認知度の低い同競技に触れてもらうことで競技人口を増やし、選手の発掘を進める。本県からは全国障害者スポーツ大会への出場経験がない競技だけに、同協会は本県開催となる2022年の同大会までに念願のチーム結成を果したい考えだ。

体験会は、同協会が一昨年度から取り組んでいる「県障害者スポーツ選手等・育成強化事業」の一環。これまでも県内の特別支援学校などでフットベースボールの出前講座を開いたほか、卓球やアーチェリーなど個人競技の障害者スポーツ教室を企画してきた。

同協会によると、バレーボールは聴覚障害男女、知的障害男女、精神障害の計5部門あるが、ルールが難しいなどの理由から同大会の開催県チームの結成が遅れる傾向にある。本県でも聴覚障害のチームは全国大会出場

経験があるが、知的、精神障害のチームはまだ結成されていない。

体験会は約3カ月間で5回実施。指導は県バレーボール協会のメンバーが務める。参加者が集まれば3月に代表選手の選考会を開き、福井県で開かれる全国障害者スポーツ大会の予選出場も視野に入れる。

### 県民ニーズ調査 ともに生きる憲章、8割「知らなかった」 / 神奈川

毎日新聞 2018年1月4日

県民の価値観や意識を探る今年度の県民ニーズ調査で、県が推進する「ともに生きる社会かながわ憲章」について、回答者の約8割が「知らなかった(今回の調査で初めて知った)」と答えていたことが分かった。

政策全般についての「基本調査」と特定のテーマについての「課題調査」を実施。この

うち「課題調査」は昨年10月、県内の18歳以上の男女3000人に実施、42・6%から回答を得た。

### 心の壁、映画でなくそう 障害者ら、体験を基に製作 東京新聞 2018年1月4日 帆根川広監督（後列右）とさまざまな障害がある映画製作のメンバー



さまざまな病気の経験者や障害者らが「心のバリアフリー」をテーマに、二〇一八年の完成を目指して映画製作に取り組んでいる。女優を目指していた女性が交通事故で両脚に障害を負い、同じ境遇の人々と交流する中で成長していく筋書き。メンバーの実体験を脚本に盛り込み、車いすの男性が重要な役を演じる。

「他のお客さまのご迷惑になるので、車いすの方は入店できません」。食堂の店員に言われ、主人公が逃げるように店を出るシーンは、車いすの女性が実際に経験したエピソードを基にした。

帆根川広（ほねかわこう）監督（44）は〇九年に脳血管障害を発症。影響で一時的に目が見えなくなった。

「仕事が続けられなくなる恐怖を感じた。障害者でも活躍できる環境をつくりたい」と、回復後の一五年、この映画製作のために非営利団体「バリアフリーフィルムパートナーズ」を設立した。

難病で背中を曲げることができない女優や小児がん経験者の支援を続ける健常者の女性など、さまざまな立場で障害と向き合う人々が集まり、映画の企画や製作資金集めに奔走。「映画の中では障害者、健常者の区別なく演技ができる」として、車いすの医師役に下半身不随の歌手、森圭一郎さん（39）を起用した。

スタッフの会社経営、増本裕司（ゆうし）さん（44）は「障害者と社会の距離をなくしたい」との思いから、障害者向けの会員制交流サイト（SNS）を立ち上げた。自身も脳出血の後遺症で右半身にまひが残るが「インターネットも映画も、押し付けでなく理解してもらえる」との思いから映画製作に参加した。

帆根川監督は「映画を見た人が少しだけ障害者に意識を向けられるよう心の中のバリアーをなくしたい」と力を込めた。

### 障がい者と家族描く 沖縄芝居「演」12日上演 琉球新報 2018年1月4日

「ランタナの花の咲く頃に」の稽古をする出演者＝12月29日、那覇市の稽古場



障がい者とその家族の愛情を描いた沖縄芝居「ランタナの花の咲く頃に」（長堂英吉原作、島正廣脚本）が12日午後7時から浦添市の国立劇場おきなわで上演される。「沖縄芝居『演』」の吉田妙子代表は「芝居を通して、もっと温かな社会になればうれしい」と話している。

吉田代表は「1993年の初演当時は今より障がい者に目が行き届いていなかった」と振り返る。芝居を見たある観客は「障がいのある息子を恥じていた。勇気もらった」と語り、積極的に息子を人前に出すようになったという。

物語の主人公春夫は左半身と目が不自由だが、結婚して家庭を持ちたいと願っている。母や叔父らはその夢をかなえようと奔走する。ある日、「結婚してもいい」という女性が現

れるが…。出演は高宮城実人さん、安次嶺利美さん、安次嶺正美さんら。

琉球リハビリテーション学院の学生も授業として観劇する予定。お年寄りと接する機会が多い介護福祉士を目指す学生たちに、うちな一ぐちに親しんでもらいたいと観劇を提案した。前日のリハーサルには障がい者らを無料招待する。

公演は伝統芸能の若手を育成する「かりゆし芸能公演」（県文化振興会主催）の一つ。前売り券は一般2500円、高校生以下1500円。問い合わせは事務局（吉田真和）（電話）080（2717）0499。

※注：高宮城実人さんの「高」は旧字体

#### 障害者の現金引き出し容疑、施設職員を逮捕 北海道 産経新聞 2018年1月4日

グループホームに入所する障害者のキャッシュカードを使って現金を無断で引き出したとして、北海道警札幌・北署は窃盗の疑いで、施設職員、三輪和弘容疑者（42）＝札幌市手稲区星置＝を逮捕した。

逮捕容疑は昨年12月19日午前8時半ごろ、同市のJR手稲駅構内の現金自動預払機（ATM）で、入所者のキャッシュカードを使って現金28万円を無断で引き出したとしている。

署によると、三輪容疑者は容疑を認め「借金返済や遊興費に使った。これまで複数回引き出している」と供述している。入所者のキャッシュカードや通帳を管理する業務に従事していたという。

#### 児童虐待、施設・里親で20件 3割「性的」、繰り返しも 道内5年間

北海道新聞 2018年1月5日

道央の児童養護施設で性的虐待が繰り返されていた問題で、道内の養護施設や里親家庭などで暮らす「被措置児童」に対する職員らの虐待事案の報告が、2012～16年度の5年間で、道央の事案を含めて計20件に上っていたことが、北海道新聞が道と札幌市に情報公開請求した内部資料で分かった。身体的と心理的虐待で7割を占め、性的虐待が3割だった。中には外傷を負わせたり、わいせつ行為を繰り返したりした悪質なケースもあった。

被措置児童とは、さまざまな事情で家庭での養育が困難と判断され、里親や施設に預けられた、おおむね18歳未満の子どもで、道内に約2500人いる。施設は児童養護施設や乳児院、障害児入所施設、児童相談所に併設した一時保護施設など道内に約50カ所ある。

公開された20件分の調査報告書によると、主な虐待の種類別では、殴るなどの「身体的虐待」、暴言などの「心理的虐待」がいずれも7件と最も多かった。次いでわいせつ行為など「性的虐待」が6件。複数の種類の虐待が絡む事案もあった。

#### 4歳児死亡、行政対応を検証 児相、虐待リスク下げる 永井啓吾

朝日新聞 2018年1月4日

亡くなった筒井歩夢ちゃん＝フェイスブックから

大阪府箕面市の集合住宅で筒井歩夢（あゆむ）ちゃん（4）が殴られて死亡した虐待事件で、市は行政機関の対応が適切だったかの検証を始めた。市や管轄する府池田子ども家庭センター（児童相談所）が事件の7カ月前、歩夢ちゃんと弟（2）への虐待リスクを5段階で最高の「生命の危機」から2段階下げ、その後もネグレクト（育児放棄）の兆候があったのに評価を据え置くなど課題が浮かんでいる。



歩夢ちゃんは2017年12月25日未明、意識不明の状態で搬送され、まもなく死亡が確認された。府警は母親の麻衣容疑者（26）や交際相手の松本匠吾容疑者（24）ら3人を殺人容疑で逮捕。顔や体には約50カ所のあざがあったという。

対応をめぐっては①リスク度合いを下げ、そのまま据え置いた②兄弟が保育所に通わなくなったことなどの情報共有が遅れた③弟にもあざがあったが警察や児相に通報がなかった——などの点が主に検証される。



## 是枝監督、リリーとタッグで新作 「10年の思考込め」家族描く

中日スポーツ 2018年1月5日

「三度目の殺人」などの話題作で日本映画界をリードしている是枝裕和監督（55）が、6月公開予定の最新作（タイトル未定）で「海よりもまだ深く」（2016年公開）に続きリリー・フランキー（54）と4度目のタッグを組む。共演陣も多彩で、常連の樹木希林（74）をはじめ、是枝組初参加の安藤サクラ（31）、松岡茉優（22）と実力派女優が集結する。

「誰も知らない」「歩いても歩いても」「そして父になる」「海街diary」など、是枝監督はこれまで数多くの作品でさまざまな“家族のかたち”を浮き彫りにしてきた。その監督が「血のつながり、社会や正しさについて、この10年考え続けたことを全部込める覚悟」と宣言する新作は、東京下町の一見平凡だが、実は万引でほそぼそと生計を立てている家族の物語。親に虐待されている少女をリリー演じる父・治が保護したことから、一家の秘密が明らかになっていく。

今回も脚本、編集を兼任する是枝監督。「きっかけは死亡通知を出さず親の年金を不正にもらい続けた家族が逮捕された事件」で、「他人から見たらウソでしかない『死んだと思いたくなかった』という家族の言い訳、その言葉の背景を想像したくなった」と説明している。

リリーは万引常習犯の役。「是枝監督組独特の穏やかな空気感の中、社会や人にとってとても重大なのに、ほんの1日で黙殺されてしまうような出来事にフォーカスを当てていく」。是枝監督とは13年「そして父になる」、15年「海街diary」、16年「海よりもまだ深く」に続くコンビとあって「監督らしい、いい作品になると感じている」と確かな手応えを語る。



初参加で昨年6月に第1子を出産した妻・信代役の安藤は「このタイミングで出演できてよかった」、信代の妹役の松岡は「夢のような顔合わせは現実には思えなかった」。5演出演の樹木は祖母役で、ウソか誠か「是枝作品の中にいるのはこれでおしまい」と語っている。

12月15日にクランクインし今月末で撮影終了、6月公開をめざす。カンヌ国際映画祭の常連監督だけに、カンヌ出品（5月）も視野に入っているはず。04年「誰も知らない」の柳楽優弥（27）がカンヌ最優秀男優賞を最年少受賞と、子役の扱いがうまい是枝監督。今回オーディションで選んだ城桧吏（じょう・かいり 11）、佐々木みゆ（6）にも期待が集まる。

## 65歳定年制、公務員も検討 労働力の確保模索 運用面に課題も

Sankeibiz 2018年1月5日

政府が公務員の定年を段階的に65歳に延ばす検討に入った。一方、企業も少子高齢化で一段と人手不足になるのに備え、労働力の確保を模索している。定年延長や子育て社員

の離職防止などさまざまだが、運用面では課題もあるようだ。

明治安田生命保険が開いた定年延長に関する研修会＝昨年7月、東京都江東区

### 離職防止に対応

明治安田生命保険は昨年7月、50代後半の社員を対象に「定年延長の心構え」に関する研修会を開いた。

「年下の上司には、リーダーという立場のつらさを理解して要望を質問の形にして助言しましょう」とアドバイスする講師の話に参加者たちは熱心に聞いていた。

研修会に参加した八王子支社の中根玲子さん（57）は「最初は定年が延びると聞いて戸惑ったが、現在の嘱託より待遇がいい」と関心が深まった様子。



保険業界では、太陽生命保険が既に65歳定年を導入。明治安田生命や日本生命保険も65歳に引き上げる方針だ。

国立社会保障・人口問題研究所の推計では、働く現役世代の15～64歳人口は2015年の7728万人から、65年には4529万人と約4割減少する。人手確保は企業にとって喫緊の課題だ。

サントリーホールディングスは13年4月から全社員対象に65歳定年制を導入。ヤマト運輸は11年度から定年を65歳に延ばした上で、60～64歳定年も選べるようにした。

離職防止の取り組みも広がる。伊藤忠商事は配偶者の海外転勤のため退職する社員のために再雇用に応募できる制度を設けている。

トヨタ自動車にも、配偶者の転勤や介護で退職する社員の復職を想定して、辞める前に面談し再入社に備えて登録する制度がある。

ホームセンター大手のDCMホールディングスは子育てのために時短勤務や残業免除が利用できる制度の子供の年齢を3歳から中学就学へ引き上げた。「日曜大工に詳しい社員の確保は一朝一夕にいかない。子育て中の人の離職防止が重要だ」（担当者）という。

### 「生涯現役」の旗

労働力不足と社会保障費の膨張に対処しようと政府も「生涯現役」の旗を振る。

厚生年金の受給開始年齢を65歳に引き上げるのに伴い、改正高年齢者雇用安定法では希望者全員の65歳までの雇用確保を義務付けた。

ただ企業にとっては人件費が増加するため、定年自体を延ばす動きはまだ限定的だ。

厚生労働省の調査によると、今年6月時点で定年を廃止した企業は2.6%。65歳以上への定年延長は17.0%で、8割以上は再雇用で対応している。70歳以上まで働ける企業となると約2割にとどまる。

高齢者雇用に関する労働政策研究・研修機構の研究では、多くの企業が「若年層が採用できず年齢構成がいびつになる」として、長期的な人事計画の課題を挙げた。「管理職だった人の扱いが難しい」という声も目立つ。

中小企業は人手確保がさらに難しくなりそうだ。ニッセイ基礎研究所の金明中准主任研究員は「高齢者や女性、外国人が事情に応じて自由に働ける労働環境の提供が不可欠だ」と話している。

保育料格差、年51万円 福岡ばらつく0-2歳児、育児負担 九州の県都、月1万円差

西日本新聞 2018年01月04日

標準的な子育て世帯が支払う0～2歳児の認可保育所などの保育料が、福岡県内の市町村で最大約3・3倍の開きがあり、年間約51万円の格差があることが西日本新聞の調べで分かった。九州各県の県庁所在地でも月額で最大1万円ほどの差があり、住む場所によって子育ての経済的負担が大きく異なる。政府は幼児教育の無償化を看板政策に位置づけ

ているが、この0～2歳児は大半の世帯が対象外となる見通しだ。識者は「保育料が高額になる低年齢児こそ公的支援の拡充が必要」と指摘する。

認可保育所や認定こども園の保育料は、国の基準額を上限に、各市町村が預ける人の世帯収入に応じて決める。上限額より安くする場合は原則、市町村の財政負担が増す仕組みなので、自治体の方針次第で保育料にばらつきが生じる。

今回は厚生労働省による2016年国民生活基礎調査の「児童のいる世帯」の平均所得（707万8千円）を参考に、世帯年収700万円程度の人が第1子を預けるケースで、福岡県内全60市町村と九州各県庁所在地の保育料を比較した。

最も安かったのは福岡県大川市の1万8300円。若い世代を呼び込み人口減を食い止めようと15年度に大幅値下げに踏み切った。

逆に最も高いのは国の上限と同じ6万1千円の春日市、宗像市、太宰府市、添田町、川崎町など福岡県内の12市町。粕屋郡内は粕屋町を除く6町全てが上限額を採用、高めの設定が目立った。ただこうした自治体も世帯収入によっては他都市より安い場合もある。

県内平均は4万9861円で、最多の4万円台が福岡市など26自治体、5万円台が17自治体で続く。

九州の県庁所在地の平均は4万4386円で、最も安い宮崎市が3万7400円、最も高い長崎市が4万7千円だった。

政府は、少子高齢化を克服し高い経済成長を目指す「人づくり革命」を掲げ、3～5歳児の幼児教育・保育を原則無償にする方針。しかし0～2歳の無償化は、住民税非課税世帯の子どもに限定する見通しだ。

保育行政に詳しい鹿児島大の伊藤周平教授（社会保障法）は「低年齢児は人手がかかるため保育料が高額となりがちで、その分地域差も生じやすい。少子化対策というなら0～2歳児にこそ国の支援を拡充し、どこに住んでも負担が少なく、保育を受けられるようにすべきだ」と指摘した。

#### 【WORD BOX】認可保育所の運営費用

国が、定員や地域ごとに運営にかかる人件費や事業費などを「公定価格」として定めている。この運営費用は国、都道府県、市町村と保護者の4者が負担。保護者が払う保育料は、世帯の所得などに応じて国が定める基準額を上限とし、実施主体の市町村が決める。保育料を基準額より引き下げる場合は原則、市町村が単独事業で肩代わりする仕組みのため、自治体財政への影響は大きい。



#### 老人ホーム、944人が事故死...国に報告1割

全国の有料老人ホームから2016年度、自治体に報告された誤飲や転倒など事故によ

る入居者の死者数が944人に上ることが読売新聞の調査でわかった。

国は全国集計をしておらず、自治体から国への死亡事故の報告は約1割にとどまっている。再発防止に向けた情報共有が徹底されていないことも浮き彫りになっており、厚生労働省は実態把握に乗り出す考えだ。

有料老人ホームでの事故について、読売新聞は17年11～12月、指導監督権を持つ都道府県と政令市、中核市に対する調査を実施。全115自治体から回答（一部項目の無回答を含む）を得た。対象施設は約1万8000施設で、老人福祉法で有料老人ホームに該当するサービス付き高齢者向け住宅も含まれる。

#### 死亡事故の状況

|         |      |
|---------|------|
| 誤飲・誤嚥   | 183件 |
| 転倒・転落   | 49   |
| 溺死      | 17   |
| 薬の誤使用   | 2    |
| その他     | 594  |
| 未分類・無回答 | 93   |

### 青年海外協力隊の訓練、駒ケ根の「街なか」で展開の構想

信濃毎日新聞 2018年1月5日

#### JOCA本部が移転する駒ケ根市中心市街地の建物



公益社団法人・青年海外協力協会（JOCA、本部・東京）は2018年3月に予定する駒ケ根市への本部移転に合わせ、国際協力機構（JICA）駒ケ根青年海外協力隊訓練所（駒ケ根市）で実施している海外派遣する協力隊候補者の訓練の一部を、同市の「街なか」で展開する構想を進めている。JOCAはJICAから協力隊候補者の派遣前訓練の業務を受託。現在は訓練

の多くを郊外の訓練所で受けている協力隊候補者と住民のつながりを強め、地域課題解決への協力や街のにぎわいづくりにつなげたい考えだ。

JOCAの雄谷良成（おおやしょうせい）理事長（56）が信濃毎日新聞の取材に明らかにした。途上国の課題解決に取り組むためにも、訓練段階から「地域の中で必要とされていたり、不足していたりする部分にもっと目を向けていくことが大事」としている。

全国から集う協力隊の候補者は毎年度、四つの隊次に分かれて同訓練所に入所。隊次ごとに70日間合宿し、赴任先の言語や国際協力、異文化理解などについて学んでいる。

協力隊候補者は現在も、近くの高齢者、障害者福祉施設や農家などを訪れて仕事を手伝ったり、地域の学校で児童生徒と触れ合ったりしているが、日数は限られ、訓練所の外で地域と接する機会が多いとは言えない。

JOCA地方創生・地域戦略部の堀田直揮部長（41）は、協力隊員が派遣先で現地の課題を調査、分析して対応策を立案するための訓練を「駒ケ根の街なかに出て、実地でやりたい」と説明。本部が移転する中心市街地は、人通りが少なく空き店舗も目立つ。活性化策を市民に提案して共に取り組むなど、隊次をまたぎ、さまざまな地域課題に継続して向き合うようにする。

現在、街なかでの訓練をどんな市民とどう進めるか調整を進めている。JOCAはJICAの承認を得て、18年4月からの開始を目指している。

雄谷理事長は、駒ケ根市中央のこまがね市民活動支援センター「ぱとな」が入る建物に移転する本部についても「市民がお茶やコーヒーを飲みに来たり、情報交換したりする場として開放する」と説明。単なるオフィスではなく、さまざまな住民が集い、交流する場に、「いろいろな人がしっかりとつながることで、駒ケ根を元気にできれば良い」と話している。



月刊情報誌「太陽の子」、隔月本人新聞「青空新聞」、社内誌「つなぐちゃんベクトル」、ネット情報「たまにブログ」も  
大阪市天王寺区生玉前町5-33 社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会 社会政策研究所発行